

福祉のかけ橋

平成24年3月号

第56号



今こそためされる地域福祉事業

南山見地区社協 会長 小橋 外喜雄

日頃地区の皆様には地区社協事業等に、色々と温かいご理解とご協力を賜っていることを厚くお礼を申し上げます。

月日のたつのが早く、南砺市誕生からはや七年、近年の福祉をとりまく状況は厳しく、事業の多様化と拡大に反し、福祉予算の削減という大変な時代になってきました。行政改革は待ったなしの中で少子高齢化が一段と進み福祉を支える仕組みそのものが崩壊しつつあるのが現状です。

「誰しも安心して暮らせる、住み慣れた場所で、その人らしく」皆の地域社会実現こそが願いだと思えます。

福祉は多岐にわたり今や行政で出来ない部分を地区社協がフォローし、地域福祉活動の推進こそ重点目標にすべきと考えています。

ふれあい型福祉（ふれあいサロン）事業と、要支援を重点にした、ふれあいネットワーク作り（ケアネット型）事業で「絆」を重視した2本の柱を重点目標に傘下グループの結束連携し、支援活動に取り組み効率の良い体制づくりに努めたいものです。

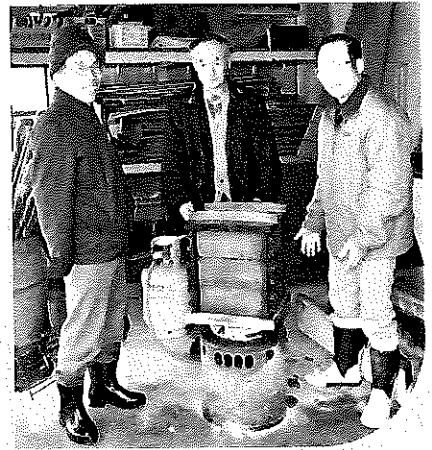
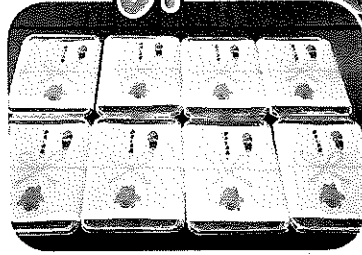
皆様方の一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。私自身も合併以来、南山見地区社協をお世話させていただき、非力でありましたが、職務を何とかこなさせていただきましたこと、偏に皆様方のご理解とご協力の賜物と感謝しお礼を申し上げます。最後に地区の皆様方のご自愛ご健勝を心からお祈り申し上げます。

歳末見舞い

十二月十七日、歳末見舞慰問事業が行われました。朝から食改、ボランティア

の方が作られた赤飯を折につめ、ごま塩をふり、包装し菓子等と一緒に、八十歳以上の方、七十五歳以上の一人暮らしの方百十二名にボランティア、地区社協理事を通じて届けました。お昼に美味しく食べてもらえるように、との思いを受け取っていただけたものと思います。寒い日が続きますが、無事乗り越えられますようお願いいたします。皆様のご健康をお祈り致します。

滝田孝子



第2回 合同学習 八乙女福祉カレッジ

「交通安全、防犯教室」



十一月十八日(金) 南山見公民館において、南砺警察署交通課萩原氏、南砺警察署井口駐在所西野拓郎氏の二名の講師を招き講演していただきました。

萩原先生から、「防犯」については、最近タイヤが盗まれる事件が十件あり、車庫、タイヤの保管を十分注意してほしい。

「悪徳商法」では、わけのわからないものを売りつけるが…断る。リフォーム詐欺…はつきり断ることが大切。

無料点検と称して(消防、水道のほうから等)多額の請求をされることもある。

南砺地方の方は、鍵をかける…

意識を強くもつように心がけるようお話がありました。

西野先生から交通安全について、近年高齢者交通事故が多いのは、第一原因に、安全確認の時間が少ない(短い)。

対策：最低でも5秒程度の時間がかけてほしい。

第二原因に「隠れた危険」を見ぬく

対策：車の陰から自転車・人・その他飛び出す予測等をしてもらいたい。

初歩的交通ルールを守り、事故のない地域を作りましよう、注意喚起されました。 前川 諭



中太閤山社福との交流の中で聞きなれない活動がありました。

「いのちのバトン」普及事業、これは射水市で開発され、住民の救急搬送が年々増加傾向にあり、病院での必要とされる医療情報(保険証・服薬・かかりつけ病院)の写しを入れたもので、バトンは冷蔵庫に保管し、扉にマグネットを貼り誰でも判る状態に家族共安心で暮せるよう考えられたもので、いい事だと思いました。

武田十四子

役員研修会 — 小杉太閤山社協 射水市太閤山と砺波北部苑訪問

「太閤の杜」へ伺いました。若くて軽快、いい笑顔で迎え案内して下さるのが、施設長の松浦さん(44)でした。小杉「爆笑劇団」を結成され、公演は全国的に有名で依頼も多く、レパートリーは二十種に及び「良かったらどうぞ」と台本を頂ける良心さには、介護魂が満ちていました。後髪引かれる思いで砺波福祉センター北部苑へ直行。

福祉とは!?

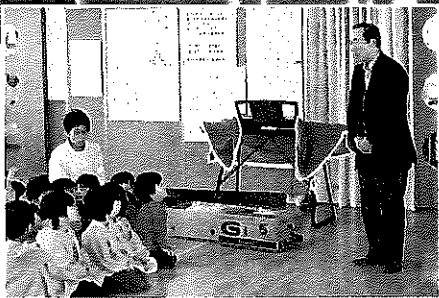
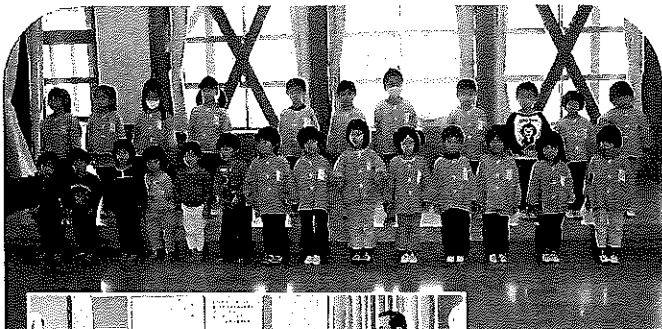
「福」 幸せ、満足感

「祉」 豊かさ、神仏の恵み

真新しい建物で催し物盛り沢山とつぶり福祉に包まれた気分、自分の出来る事から始める事を教えられた一日研修でした。

* * * 園児とふれあい交流 * * *

* * * * * 十二月二十六日(月)、会長、副会長等三人で保育園を訪問しました。



平成23年度 南砺市サロン研修会

知る葉グループ 武田 幸子



十一月二十五日、井口社会福祉センターで、身近なもので作る「割り箸と毛糸で簡単!! ミニホウキ作り」のサロン研修会に参加しました。社会福祉協議会指導のもと、南砺地域の参加者の皆様と、簡

単な手遊びをした後、ミニホウキに挑戦。色々な毛糸、布切れを前に、指導者の説明を真剣に聞き、可愛く出来上るのを想像して、隣りの人と協力しながら作り始め、皆さんの笑い声の中「次どうするがけ」と教えてもらいながら、楽しく時間のたつのも忘れてミニホウキが出来上がりました。色とりどりのミニホウキで会場が明るくなり、「地区でも作れたらいいね」と参加者の皆様と別れました。

いつもはクリスマスに行っているのですが、今年は休みがかさなつてこの日になりました。二三日前から雪が降っており、この日も雪が積っていました。保育園では、みんな外で雪遊びをしておられました。元気な声を聞きながら待つていられたの遊戯室に入つてこられたの

で、園児さんとのふれあいをして、持つて行つたお菓子を配りました。元気な声で「ありがとう」また、はにかんだ声で「ありがとう」、お礼に、皆で歌を歌つて下さいました。年少の子供さんは踊りを入れて歌つておられ、私達も手をたたいて聞いておりました。帰りに私達も、なごやかな心で園を後にしました。

1月14日、井波交流館ラフォーレに於いて南山見地区社会福祉協議会の役員研修会が行われました。講師に南砺市社会福祉協議会の齋藤昌英会長を招き、「南砺市の地域福祉と課題点」について講演をしていただきました。

齋藤氏は教員を定年退職後各職を経て現職との事。南砺市社協の会長として活躍しておられます。

講演終了後役員会を開き、今後の行事について打ち合わせ後、親睦会を開き、いっそう絆を深めた有意義な一日でした。

横江 清隆

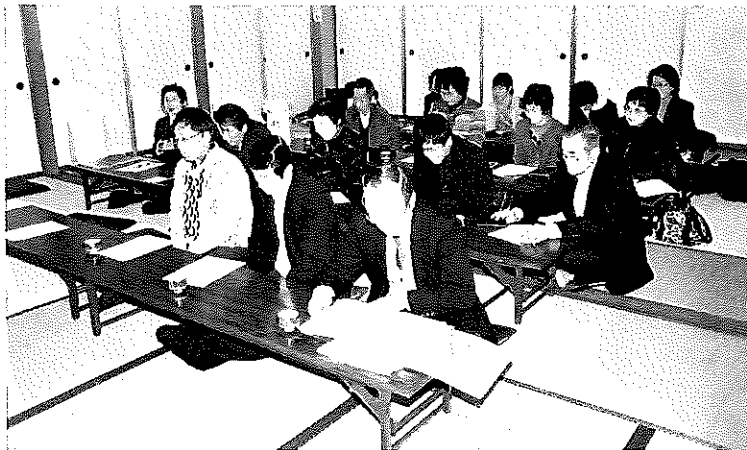
役員研修会開かれる



平成23年度 南山見地区社協事業経過

(平成23年11月～24年2月)

H24	H23	年月日	実施事業	場所
2月18日	11月18日	2・18	高年齢者サロン世話方・会食ふれあい交流会	南山見公民館
12月26日	11月25日	12・26	第2回役員研修会	井波社福センター
12月17日	11月30日	12・17	歳末施設見舞い事業	南山見公民館
			歳末見舞い慰問事業	南山見保育園
			ふれあいコミュニティケアネットシンポジウム	井波交流館ラフォーレ
			南砺市ケアネット事業研修会	南山見公民館
			南砺市サロン研修会	南山見公民館
			講師 南砺警察署 井口駐在所 西野拓郎氏	南山見公民館



号数	第五六号
発行	平成二十四年三月
所在	富山県南砺市川原崎 南山見公民館内
発行者	南山見地区社会福祉協議会

● 読んだら綴りましょう

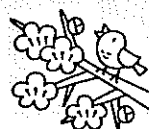
編集後記

今年も故郷に命あふれる春が来る。幾度もの春秋を重ね、いつの間にか子供達が大きくなりお年寄りが去り、気が付くと自分もよい歳になっていく。年々歳々花同じくして歳々年々人同じからず。季節の移ろいを五感に留め日々おかつていきたいものです。(真)

今後の行事案内

3月上旬
在宅介護者リフレッシュ研修会

3月下旬
花鉢贈呈一人暮らし老人慰問



表紙の写真は、2月18日に65才以上の一人住まいの方、75才以上の高齢者世帯の方を招いてサロン世話方会食ふれあい交流会を開催しました。